

令和4年南アルプス市議会第4回定例会（12月）

市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、今年度実施中の主要事業について、ご説明申し上げます。

1点目は、『新産業拠点整備事業』についてであります。

最重要課題でありました完熟農園跡地の再開発事業として、「株式会社ヒカレヤマナシによる地域交流施設」と「コストコ南アルプス倉庫店」の誘致が決定し、市民の皆さまとお約束しました、『人々が集い、地域と繋がる集客交流拠点』の実現と、これを起爆剤にした市の玄関口への『賑わいと活力ある街づくり』に向け、現在、準備を着実に進めているところであります。

10月からは、事業用地において、埋蔵文化財発掘調査を開始しており、同時に、用地契約に向けた地権者説明会を段階的に実施しております。

今後は、造成設計や許認可など、基盤整備に向けた準備を整えるとともに、誘致企業との契約手続きや具体的な事業計画の調整を図りながら、令和6年度の開業に向けて、鋭意努めてまいります。

2点目は、『インターチェンジ周辺整備事業』についてであります。

インターチェンジ周辺整備事業については、南アルプスIC周辺高度活用計画検討委員会に加え、地権者意見交換会や市民ワークショップを開催しており、将来的なまちづくりへの期待とともに、活発なアイデアやご意見をいただく中で、計画策定に取り組んでいるところであります。

インターチェンジ周辺については、市の玄関口として、今後のまちづくりを担う重要なエリアでありますので、多くの皆さまのお声をいただく中で、引き続き、高度活用の推進に取り組んでまいります。

3点目は、『企業誘致』についてであります。

はじめに、御勅使南工業団地のコーセイ株式会社南アルプス工場については、現在、工場建設の基本設計が進んでおり、工場の稼働に向けて、順次計画は進んでいるとのことです。

また、昨年から整備をしている宮田倉庫物流センターや武蔵エナジーソリューション南アルプス工場についても、建設工事は、予定通り進捗しております。

先の9月定例会において、財産取得の議決をいただきました、下今諏訪工業団地B区画、及びC区画については、土地の権利移転が完了し、半導体関連企業や物流業などを中心に誘致活動を進めております。

地元雇用や自主財源の確保、更には、地域経済の活性化のため、引き続き、優良企業の誘致に鋭意努めてまいります。

4点目は、『(仮称)子ども・子育て応援宣言』についてであります。

「(仮称)子ども・子育て応援宣言」については、5月に諮問させていただきました「子ども・子育て会議」において、現在、協議を重ねているところであります。

「宣言」は、「子育てに携わる関係者の意見や思い」が集約された内容になるものと期待しており、今後は、この「宣言」に基づき、子育て支援施策を、更に積極的に展開してまいりたいと考えております。

正式な宣言については、3月に実施されます「南アルプス市ファミリーフェスタ」の場で発表させていただく予定であります。

5点目は、『連携中枢都市圏構想』についてであります。

連携中枢都市圏構想については、本年7月に連携を想定する10市町で構成する「やまなし県央連携中枢都市圏推進協議会」が発足し、甲府市との効果的な連携に向けて、分科会などにおいて協議、検討を続けているところであります。

連携協約については、連携中枢都市宣言を行った甲府市と、連携市町が圏域全体の経済をけん引し、圏域の住民全体の暮らしを支えるため、「圏域全体の方向性」、「連携する取り組み、役割分担」を規定し、それぞれの市町における議会の議決に基づき、締結されるものであります。

人口減少、少子高齢化の進行と合わせ、ウイズコロナ、物価高騰、原油価格高騰など、厳しい社会状況が続く中、関係性の深い自治体同士が、地域の強みを活かし、それぞれの弱みを補完しながら課題解決に取り組むことにより、住民サービスの向上に繋げてまいります。

6点目は、『ふるさと納税関連事業』についてであります。

今年度も、10月末からシャインマスカットの先行予約を開始しております。昨年度は、過去最高となる16億円を超える寄附額となり、今年度もJA南アルプス市、及び市内生産者の皆さまと連携する中で、より多くの寄附をいただけるよう、数量を確保し、申込みのピークである年末に向けて、予約受付を鋭意進めており、現時点では、昨年同様に好調な出足となっております。

また、今年度は、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングによる寄附の募集を実施いたしました。

今回、対象としましたプロジェクトは、今年度、4年ぶりの開催となる「南アルプス市ファミリーフェスタ」であります。

この寄附を通じて、本市の「子育て支援策」と「子育て支援団体の活動」を、市内外の皆さまに広く知っていただくとともに、久々に開催されるイベントを、盛り上げ

ていただくことを目的として実施しております。

7点目は、『市民参加型シティプロモーション事業』についてであります。

本事業は、現在、審査会を経て事業採択された4団体に業務を委託する形で実施しております。

はじめに、「すーどあるぺん音楽祭」については、8月30日に、広河原山荘、芦安山岳館において、本市出身のバイオリニストを中心とした演奏家による音楽祭を開催し、訪れていた登山客や観光客の皆さまに、本市の誇る自然や景観に、一流の音楽を加えた新たな魅力をご堪能いただいたところであります。

また、「デジタルアートでアニメ「ゆるキャン△」の世界に入ろう」については、9月17、18日の両日、静岡県で開催された「つま恋キャンプフェスwith『ゆるキャン△』」へブースを出展し、本市がモデル地となっている、「ゆるキャン△」を通じて、本市のPRを行ったところであります。

また、「南プス子ども市民放送局」については、南アルプス市のモノ・コト・ヒト等の財産を取材し、県内外に発信するための動画制作を進めており、現在は、市内の子どもたちによる大人へのインタビュー撮影を終了したところであります。

また、「日本No2協会」については、令和5年2月に開催を予定している「第2回No2サミット」に向けて、全国のNo2(2番目)の団体や個人等の関係者に参加を呼び掛けながら、サミット開催に向けて調整を行っているところであります。

また、12月1日からは、本市の新たな魅力の掘り起こしを目的として、市内で撮影された「冬」の写真を募集いたします。

本市は、「果樹」や「山岳」が主な観光資源であることから、最盛期である「夏」のイメージは多くの方に認識されているところでもあります。そこで今回は「冬」の南アルプス市の魅力を発信できるような写真を募集してまいりますので、市民の皆さまの積極的なご参加をお願い申し上げます。

最後に、本年11月から利用開始となっております、市民1人あたり1万円分の「南アルプス元気券」は、長引く原油価格高騰、物価高騰などにより、経済的負担が増している市民の皆さまの生活の支援を目的として実施しております。

利用期間は、年明けの1月末日までとなっておりますので、年末年始を有意義に過ごすために、市民の皆さまの積極的な利用をお願い申し上げます。

更には、物価高騰等に直面する保護者の負担軽減を図るため、令和4年11月から翌年3月まで、小中学校の「給食費」について、無償化を実施しております。

今後も、国の動向や市内の現状等を注視するとともに、経済対策、事業支援などについての情報を収集し、速やかな事業実施に努めてまいります。